



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月8日

上場会社名 株式会社カネカ  
コード番号 4118

上場取引所 東

URL <https://www.kaneka.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 一彦

問合せ先責任者(役職名) 常務執行役員IR・広報 (氏名) 石田 修 (TEL) 03-5574-8090  
(Investors & Public Relations)部長

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	198,382	8.6	10,276	83.4	10,146	52.0	7,033	65.8
2024年3月期第1四半期	182,740	△5.2	5,603	△54.1	6,674	△54.8	4,241	△59.7

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 15,678百万円(△8.4%) 2024年3月期第1四半期 17,123百万円(△3.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2025年3月期第1四半期	円 銭 110.38	円 銭 110.04
2024年3月期第1四半期	円 銭 65.35	円 銭 65.17

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年3月期第1四半期	百万円 886,224	百万円 481,391	% 51.9
2024年3月期	百万円 870,205	百万円 474,383	% 52.1

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 459,895百万円 2024年3月期 453,463百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 55.00	円 銭 —	円 銭 55.00	円 銭 110.00
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
2025年3月期(予想)	円 銭 —	円 銭 60.00	円 銭 —	円 銭 60.00	円 銭 120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	790,000	3.6	38,000	16.6	34,000	16.3	24,500	5.5	388.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	66,000,000株	2024年3月期	66,000,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	3,089,830株	2024年3月期	1,851,007株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	63,726,032株	2024年3月期1Q	64,900,739株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、2024年8月8日に、機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当四半期の財政状態の概況	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(会計方針の変更)	P. 10
(セグメント情報等の注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 12
(継続企業の前提に関する注記)	P. 12
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 12

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

- **世界経済の状況** —景気回復の兆しも、方向感の定まらない足踏み状態が続く—  
 当第1四半期（2024年4月～6月、以下1Q）は、各国のインフレ圧力が緩和に向かい、緩やかな回復基調となりましたが、足取りは依然鈍い状況です。長引く紛争や各国の政局不安など、地政学リスクは鎮静化せず、方向感の無い状態が続いています。欧米では、景況の足踏みが続き、中国経済の回復の動向も依然不透明です。日本の製造業は、記録的な円安が続くなか、自動車減産や海外需要の減速の影響を受けました。
- **当社グループの業績** —増収増益、回復モメンタムを継続し、堅調なスタート—  
 このような状況下、当社グループの1Qの業績は、売上高198,382百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益10,276百万円（前年同期比83.4%増）、経常利益10,146百万円（前年同期比52.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益7,033百万円（前年同期比65.8%増）となりました。  
 不安定な需要環境が続くなか、売上高・営業利益・経常利益・四半期純利益は前年同期に比べ大幅な増収増益となりました。営業利益は前年同期以降、四半期ごとに順調に回復しています。

2025年3月期 第1四半期 連結業績 (単位：百万円)

	2024年3月期 1Q	2025年3月期 1Q	増減
売上高	182,740	198,382	15,642 (8.6%)
営業利益	5,603	10,276	4,673 (83.4%)
経常利益	6,674	10,146	3,472 (52.0%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,241	7,033	2,792 (65.8%)

セグメント別売上高・営業利益 (単位：百万円)

	売上高					
	2024年3月期				2025年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	前年同期比
Material SU	77,659	78,814	81,444	84,982	86,042	8,382 (10.8%)
Quality of Life SU	40,878	43,880	46,638	44,785	45,058	4,180 (10.2%)
Health Care SU	17,745	18,448	17,209	21,452	18,372	626 (3.5%)
Nutrition SU	46,037	46,006	49,038	46,099	48,674	2,637 (5.7%)
その他	419	226	280	252	234	△184 (△44.1%)
計	182,740	187,376	194,611	197,574	198,382	15,642 (8.6%)

	営業利益					
	2024年3月期				2025年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	前年同期比
Material SU	5,513	6,610	6,996	8,375	8,382	2,869 (52.0%)
Quality of Life SU	2,939	4,159	4,655	3,607	4,256	1,316 (44.8%)
Health Care SU	2,967	2,926	2,451	4,596	2,992	25 (0.9%)
Nutrition SU	2,277	2,298	3,820	3,680	3,903	1,626 (71.4%)
その他	288	101	151	125	111	△176 (△61.3%)
調整額	△8,381	△9,093	△9,070	△9,417	△9,369	△988 (-)
計	5,603	7,002	9,004	10,968	10,276	4,673 (83.4%)

各セグメントの状況は次のとおりです。

### ① Material Solutions Unit

当ユニットは、欧米・アジアの緩やかな需要回復により、全てのSVで増収増益となりました。

- Vinylsは、塩ビ・か性ソーダ共にアジア市況の低迷が続きましたが、足元の需要は回復基調にあり、増益となりました。国内では塩ビの価格改訂を打ち出しており、スプレッドの改善に注力しています。
- MODは、全拠点で需要が回復し、コストダウンの取り組みも寄与したことから、大幅な増益となりました。非塩ビ用途及びMXの販売も着実に拡大しており、高付加価値製品へのシフトを加速させます。
- MSは、ユニークな機能特性を活かして販売が堅調に拡大し、増益となりました。当第2四半期（2024年7月～9月）以降は、ベルギーでの生産能力増強設備の稼働を活かし、新用途・新地域での拡販に注力します。
- Green Planetは、世界の大手ブランドホルダーとの取り組みが進展し、発泡緩衝材として家電・自動車向けにも採用されるなど、採用案件が更に増加しています。世界中で環境規制の厳格化とともにGreen Planetへの関心が高まっており、量産実証プラントの立上げを確実に進めます。

### ② Quality of Life Solutions Unit

当ユニットは、Foamは自動車分野での生産調整の影響を受けましたが、E&Iはスマートフォンの需要が回復しました。全体では大幅な増収増益となりました。

- Foamは、自動車分野での生産調整及び農水産・建築分野での需要低迷の影響を受けました。需要の確保や価格改訂・コストダウンなど、スプレッドの改善に継続的に取り組んでまいります。
- E&Iは、スマートフォンや大型液晶TVの生産が増加し、ポリイミドフィルム・アクリル樹脂ともに大幅な出荷増となりました。5Gスマートフォンの利用拡大に伴い、高周波対応ピクシオの採用アイテムも増えています。
- PVは、住宅向け高効率太陽電池の販売が堅調に推移しました。豊岡市でのマイクログリッド事業の開始、壁・窓が発電するZEB需要の拡大、次世代太陽電池（ペロブスカイト）の導入に向けた官民での取り組みが進展しており、当社製品への注目度はさらに高まっています。
- Fiberは、アフリカ諸国の通貨安・高インフレが継続し、頭髮製品の需要回復に想定以上に時間を要しています。サブサハラアフリカ全域への拡販や、高機能新製品の投入を加速し、更なる需要の喚起に取り組んでまいります。

### ③ Health Care Solutions Unit

当ユニットは、Medicalは堅調な業績を継続し、Pharmaは前四半期との比較では需要波動の影響を受けましたが、全体では増収増益となりました。引続き順調な成長が見込まれます。

- Medicalは、血液浄化器、カテーテルともに販売が順調に拡大しています。北海道の血液浄化器の新工場は8月に稼働予定で、下期以降の国内外での需要増大に寄与する見込みです。カテーテルでは消化器領域や不整脈領域の新製品投入を予定しており、生産拠点の新設も検討しています。
- Pharmaは、顧客の需要波動の影響を受けたものの、低分子・バイオ医薬品ともに新規開発品の取り組みが着実に進展しています。バイオCDMO事業の拡大に向けてベルギーはじめ研究拠点体制を拡充しており、遺伝子治療・がん治療薬の需要拡大に備えた事業基盤の強化に注力してまいります。

### ④ Nutrition Solutions Unit

当ユニットは、Supplement・Foods共に好調な業績を維持し、大幅な増収増益となりました。

- Supplementは、米国・欧州での還元型Q10の販売が堅調に推移し、アジア・オセアニアでも販売が伸長しています。更に還元型Q10新製品の開発を進め、市場拡大に向けたマーケティング策を国内外で効果的に実施してまいります。乳酸菌は米州での販売が順調に推移しており、グローバルでの業容拡大を進めます。
- Foods & Agrisは、高付加価値品へのシフトとスプレッド改善が一段と進み、収益力の向上に大きく寄与しました。更なる業容拡大のキーとなる「B2C」事業については、「わたしのチカラQ10ヨーグルト」のラインナップ拡充、「Q10果実グミ」の新規販売など、食と健康を結び付け、特徴ある高付加価値品の投入及び拡販に注力しています。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

1Q末の総資産は、棚卸資産の増加に加え、円安による海外グループ会社の資産額増加等により、前期末に対して16,018百万円増加の886,224百万円となりました。

負債については、借入金の増加等により9,010百万円増加の404,832百万円となりました。

純資産については、円安による為替換算調整勘定の増加に加え、保有株式の時価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加等により7,008百万円増加の481,391百万円となり、自己資本比率は51.9%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

IMFが7月に公表した世界経済の成長率の見通しは、2024年が3.2%、2025年が3.3%と足踏み状態が続いています。足元では世界同時株安や急激な円高の進行など、予断を許さない不透明な情勢となっています。

重点領域であるHealth Care、Nutritionは着実に成長し続けています。下期に向けて、Medicalの新製品の投入、Pharmaの新案件の販売増を計画しており、成長ペースを加速してまいります。QOL領域では、Fiberは需要回復が遅れていますが、安定的に推移しています。E&Iは新しい需要が広がっており、スプレッド改善が進むFoamと合わせ、収益拡大が見込まれます。Material領域では、MOD・MSの販売は着実に伸長しており、新製品の拡販やスプレッド改善に注力します。

以上のような状況下、当社は全社でのポートフォリオ変革をより一層加速し、収益力の向上を目指してまいります。

以上より、現時点において2024年5月14日公表の連結業績予想は変更いたしません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	43,969	43,294
受取手形、売掛金及び契約資産	186,371	179,732
商品及び製品	94,734	99,298
仕掛品	11,678	12,102
原材料及び貯蔵品	70,883	76,133
その他	23,122	27,056
貸倒引当金	△1,898	△1,898
流動資産合計	428,861	435,719
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	98,883	102,974
機械装置及び運搬具（純額）	107,975	114,406
その他（純額）	124,460	120,726
有形固定資産合計	331,319	338,107
無形固定資産		
のれん	1,859	1,757
その他	18,973	19,328
無形固定資産合計	20,832	21,086
投資その他の資産		
投資有価証券	70,150	72,009
その他	19,331	19,587
貸倒引当金	△290	△286
投資その他の資産合計	89,191	91,310
固定資産合計	441,344	450,505
資産合計	870,205	886,224

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	104,212	101,722
短期借入金	116,532	129,376
1年内償還予定の社債	5,000	5,000
未払法人税等	4,963	3,766
引当金	123	3
その他	60,833	60,912
流動負債合計	291,666	300,780
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	40,391	40,097
引当金	2,154	1,972
退職給付に係る負債	12,585	12,250
その他	34,023	34,732
固定負債合計	104,156	104,052
負債合計	395,822	404,832
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	33,046	33,046
資本剰余金	29,173	29,294
利益剰余金	331,933	335,439
自己株式	△6,797	△11,814
株主資本合計	387,355	385,966
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,632	33,860
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	22,037	28,761
退職給付に係る調整累計額	11,438	11,308
その他の包括利益累計額合計	66,107	73,929
新株予約権	648	648
非支配株主持分	20,271	20,847
純資産合計	474,383	481,391
負債純資産合計	870,205	886,224

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	182,740	198,382
売上原価	136,353	142,946
売上総利益	46,386	55,436
販売費及び一般管理費	40,782	45,159
営業利益	5,603	10,276
営業外収益		
受取配当金	824	819
為替差益	1,444	1,401
持分法による投資利益	21	37
その他	220	616
営業外収益合計	2,510	2,874
営業外費用		
支払利息	750	1,016
固定資産除却損	283	540
その他	406	1,447
営業外費用合計	1,440	3,005
経常利益	6,674	10,146
税金等調整前四半期純利益	6,674	10,146
法人税、住民税及び事業税	2,431	2,931
法人税等調整額	△268	△197
法人税等合計	2,163	2,733
四半期純利益	4,510	7,413
非支配株主に帰属する四半期純利益	269	379
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,241	7,033

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	4,510	7,413
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,796	1,228
繰延ヘッジ損益	7	△0
為替換算調整勘定	6,881	7,166
退職給付に係る調整額	△71	△130
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	1
その他の包括利益合計	12,612	8,265
四半期包括利益	17,123	15,678
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,443	14,855
非支配株主に係る四半期包括利益	679	823

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Material Solutions Unit	Quality of Life Solutions Unit	Health Care Solutions Unit	Nutrition Solutions Unit	計				
売上高									
外部顧客への売上高	77,659	40,878	17,745	46,037	182,320	419	182,740	—	182,740
セグメント間の 内部売上高又は振替高	56	9	—	10	75	280	356	△356	—
計	77,716	40,887	17,745	46,047	182,396	699	183,096	△356	182,740
セグメント利益	5,513	2,939	2,967	2,277	13,697	288	13,985	△8,381	5,603

(注) 1 「その他」は、報告セグメントに含まれない損害保険・生命保険の代理業務等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	13,697
「その他」の区分の利益	288
セグメント間取引消去	1
全社費用(注)	△8,393
その他の調整額	10
四半期連結損益計算書の営業利益	5,603

(注) 全社費用は主に特定の報告セグメントに帰属しない基礎的研究開発費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Material Solutions Unit	Quality of Life Solutions Unit	Health Care Solutions Unit	Nutrition Solutions Unit	計				
売上高									
外部顧客への売上高	86,042	45,058	18,372	48,674	198,148	234	198,382	—	198,382
セグメント間の 内部売上高又は振替高	58	20	12	11	103	309	413	△413	—
計	86,101	45,079	18,384	48,686	198,251	544	198,796	△413	198,382
セグメント利益	8,382	4,256	2,992	3,903	19,535	111	19,646	△9,369	10,276

(注) 1 「その他」は、報告セグメントに含まれない損害保険・生命保険の代理業務等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	19,535
「その他」の区分の利益	111
セグメント間取引消去	0
全社費用(注)	△9,399
その他の調整額	29
四半期連結損益計算書の営業利益	10,276

(注) 全社費用は主に特定の報告セグメントに帰属しない基礎的研究開発費であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	9,947百万円	10,559百万円
のれんの償却額	161百万円	184百万円